

文化総合学研究科

【概 要】

「文化総合学研究科」は、1999 年に「アメリカ・ヨーロッパ文化学研究科」として開設され、キリスト教文化学、神学、哲学・倫理学、文学、歴史学等の人文学を中心として、アメリカ・ヨーロッパの文化の根底にあるキリスト教プロテスタントの深い理解に立った高度な専門的知識を身につけた人材を育成すること、更には文化的価値創生を担える人材を育成することを通じて、社会の要請にも応えうる研究教育を実践することを目指した。

その後も、人文学領域の研究教育の更なる強化をはかり、現代人の思想文化の問題や現代社会の文化的課題を、その淵源にまで遡りつつ、自ら課題を見つけ研究する、専門家・実務者の養成に力を注ぎ、成果を挙げてきた。

そうした成果の上に立ち、より複雑化した現代世界の歴史的状況を視界に見定め、これまでと同様にアメリカ・ヨーロッパ文化の根源にあるキリスト教の深い理解を基盤としつつ、キリスト教に淵源する普遍的な文化的価値とともに、異なる文化的価値をも視野にいたした上で現代の文化的諸価値を総合し統合することにより、現代における新たな文化的価値創生を担える人材を育成することを目指すこととなった。

そのため、本研究科は 2020 年度より「文化総合学研究科」と改称することとなった。

【文化総合学研究科ポリシー】

ディプロマ・ポリシー

博士前期課程は、人文学の立場から、アメリカ・ヨーロッパ文化及び世界のグローバル化の中での日本文化の深層理解に学問的に対応できる能力と幅広い教養を修得し、かつ専攻分野における研究能力または高度な専門性を要する職業に必要な能力をもつ者に修士（学術）を授与する。

博士後期課程は、新しいアメリカ・ヨーロッパ文化学及び日本文化学の総合的視点にたった専門的見地から、多様化する社会において自立した研究者として貢献する専門的知識と研究方法を習得し、高度に専門的な業務に従事するに必要な研究能力をもつ者に博士（学術）を授与する。

カリキュラム・ポリシー

1. 博士前期課程は、キリスト教理解を基盤にした新しい文化総合学の教育と研究を実現する科目群として共通必修科目を設置する。
2. また博士前期課程に、学生の専門的ニーズに応える科目群として「アメリカ・ヨーロッパ文化学」「キリスト教文化学」「日本文化学」「文化基礎・人間学」の講義科目を設置する。
3. 博士後期課程は、いわゆる単位制を取らず、学生に対して正副 2 名の指導教授が学生の研究分野に対して専門的な研究指導をする「特殊研究科目」をおく。
4. また博士後期課程は、「博士論文提出資格試験」を課すほか、2 編以上の小論文の作成（博士論文に関わるもの）と公開研究会での発表、および語学試験の合格あるいは履修という条件で構成される。
5. 博士論文提出資格試験に合格した者に対して「予備審査用の博士論文」を提出させ、これに合格した者が博士学位申請論文を提出しうるものとする。

アドミッション・ポリシー

博士前期課程

1. ジェネラリストとして、グローバル化の理念に基づき、自治体、民間レベルの文化交流・国際的業務に携わることをめざす人を求める。
2. キリスト教文化を深く理解し、あらゆる分野で国際的信頼関係に基づいた活動をめざす人を求める。
3. 語学力とともに、国際的な価値観・センスを身につけることをめざす人を求める。

4. 深く新しい文化総合教育に携わることをめざす人を求める。

博士後期課程

新しい文化総合学の構築を目的とし、自立した専門的研究活動を遂行することをめざす人を求める。

【コース説明】

アメリカ・ヨーロッパ文化学コース

アメリカおよびヨーロッパの文化の根柢にはキリスト教プロテスタントの価値観が脈々と流れている。アメリカ・ヨーロッパ文化をキリスト教文化学、神学、哲学、倫理学、文学、歴史学、政治思想等の諸学の領域から研究し、ヨーロッパの思想や文化が何を目指してきたのか、どのようにアメリカ独自の思想文化が発展してきたのかを問いつつ、世界各地の近代化に密接に関連しているアメリカ・ヨーロッパの文化をグローバル化が進む現代の状況と課題を見据えながら、文化変容の問題や文化の比較という方法的視点にたち、深く追究する。

日本文化学コース

近代化以降の日本文化は、欧米の価値観の摂取というまさに文化変容の場であった。自由や平等という普遍的価値をめざすとともに、伝統的文化の息づく重層的な場でもある。そして現代はグローバル化というあらたな動向の只中に置かれている。その日本文化のありかたを、哲学、キリスト教思想、倫理学、歴史学、文学、文化論等のさまざまな視点から多角的にとらえ、日本文化に課せられた現代的な課題に向き合いつつ、文化像と人間像を探究する。

キリスト教文化学コース

アメリカ・ヨーロッパ文化の根底にあるキリスト教思想が、古代から現代までどのように展開したのか、欧米文化にどのような影響を与えたのかを歴史的に解明する。特に、ニーバー、キング、ガンジーなどの諸説から“近代世界とキリスト教”の関わりを重点的に研究。さらに、キリスト教思想から現代をどのように理解するかをも追究する。

文化基礎・人間学コース

文化には諸地域での特有の現象という側面と、地域という枠をこえた文化現象の通有性、あるいは文化の根柢にある人間のあり方の普遍性という側面もある。本コースでは哲学、教育学、文化表象論等から、文化の基礎にある普遍的な人間のありかたを現代的な課題を踏まえつつ、歴史的にあるいは構造的に深く追究する。

2024年度 大学院【文化研】開講科目一覧

コース		授業科目	分野	テーマ	担当者	単位		開講期			対象 学年	備考
						必修	選択	春学期	秋学期	その他		
共通 基礎		文化総合学総論			オムニバス	2		○			1	必修
		文化総合学研究			休講		2				1	
		比較文化研究			休講		2				1	
		研究方法特論			今出、村岡、杉淵		2	○			1	
アメリカ・ヨーロッパ文化学	アメリカ・ヨーロッパ文化学研究A	思想	近現代	今出敏彦、村瀬天出夫		2	○				1	演習科目 関連の 科目選 択
	アメリカ・ヨーロッパ文化学研究B	歴史	ヨーロッパ近世	和田光司、村瀬天出夫		2	○				1	
	アメリカ・ヨーロッパ文化学研究C	表現文化	英米文学	氏家理恵		2	○				1	
			近代アメリカ美術	江崎聡子		2	○				1	
		第二言語習得と学習	村岡有香		2	○				1		
日本文化学	日本文化学研究 A	思想	日本近・現代史	今井勇		2	○				1	
			日本プロテスタント史	村松晋		2	○				1	
	日本文化学研究 B	歴史	中世史	阿部能久		2	○				1	
			近・現代史	今井勇		2	○				1	
	日本文化学研究 C	文学	古代(中古)	木下綾子		2	○				1	
			近現代	杉淵洋一		2	○				1	
		日本漢文	濱田寛		2	○				1		
研究 科目	キリスト教文化学	思想・言語	聖書学	関根清三		2	○				1	
			組織神学(欧米)	菊地順		2		○			1	
	キリスト教文化学研究 B	思想・歴史	キリスト教史	柳田洋夫		2		○			1	
			組織神学 (東アジア・日本)	洛雲海		2	○				1	
文化 基礎・ 人間学	文化基礎・人間学研究 A	人間学	生涯学習論・社会教育	小池茂子		2	○				1	
			対象理解	田澤薫		2	○				1	
			成人教育学	岩木信喜		2	○				1	
			異文化間教育	休講		2					1	
	文化基礎・人間学研究 B	表現文化	児童文学	松本祐子		2	○				1	
			音楽文化	久保田翠		2	○				1	
原典 講読	文献講読 A(日本文化学)			休講		2					1	選 択 科 目
	文献講読 B(日本文化学)			濱田寛		2	○				1	
	文献講読 C(ヨーロッパ文化学)			和田光司		2		○			1	
	文献講読 D(キリスト教文化学)			休講		2					1	
	原書講読 A(英語)			氏家理恵		2	○				1	
	原書講読 B(英語)			氏家理恵		2		○			1	
	原書講読 A(独語)			村瀬天出夫		2	○				1	
	原書講読 B(独語)			村瀬天出夫		2		○			1	
	原書講読 A(仏語)			杉淵洋一		2	○				1	
	原書講読 A(ラテン語)			休講(隔年開講)		2					1	
	原書講読 B(ラテン語)			休講(隔年開講)		2					1	
	原書講読 A(ヘブライ語)			関根清三		2	○				1	
	原書講読 B(ヘブライ語)			関根清三		2		○			1	
	原書講読 A(ギリシャ語)			休講(隔年開講)		2					1	
	原書講読 B(ギリシャ語)			休講(隔年開講)		2					1	

演習科目関連の科目選択

選択科目

コース		授業科目	分野	テーマ	担当者	単位		開講期			対象 学年	備考
						必修	選択	春学期	秋学期	その他		
演習 科目 指導	演習（研究）	アメリカ・ヨーロッパ文化学A演習Ⅰ	思想	近現代	今出敏彦、村瀬天出夫		4		◎		1	2 演習計 8単位 以上 選択 必修
		アメリカ・ヨーロッパ文化学B演習Ⅰ	歴史	ヨーロッパ近世	和田光司、村瀬天出夫		4		◎		1	
		アメリカ・ヨーロッパ文化学C演習Ⅰ	表現文化	英米文学	氏家理恵		4		◎		1	
				近代アメリカ美術	江崎聡子		4		◎		1	
				第二言語習得と学習	休講		4				1	
		日本文化学A演習Ⅰ	思想	日本近・現代史	今井勇		4		◎		1	
				日本プロテスタント史	村松晋		4		◎		1	
		日本文化学B演習Ⅰ	歴史	中世史	阿部能久		4		◎		1	
				近・現代史	今井 勇		4		◎		1	
		日本文化学C演習Ⅰ	文学	古代(中古)	木下綾子		4		◎		1	
				近現代	杉淵洋一		4		◎		1	
				日本漢文	休講		4				1	
		キリスト教文化学A演習Ⅰ	思想・言語	聖書学	関根清三		4		◎		1	
				組織神学(欧米)	菊地順		4		◎		1	
		キリスト教文化学B演習Ⅰ	思想・歴史	キリスト教史	柳田洋夫		4		◎		1	
				組織神学(東アジア・日本)	洛雲海		4		◎		1	
	文化基礎・人間学研究A	人間学	生涯学習論・社会教育	小池茂子		4		◎		1		
			対象理解	田澤薫		4		◎		1		
			成人教育学	岩木信喜		4		◎		1		
			異文化間教育	佐藤千瀬		4		◎		1		
	文化基礎・人間学研究B	表現文化	児童文学	松本祐子		4		◎		1		
			音楽文化	休講		4				1		
	指導	アメリカ・ヨーロッパ文化学A演習Ⅱ	思想	近現代	休講		4				2	1 演習選 択 必修
		アメリカ・ヨーロッパ文化学B演習Ⅱ	歴史	ヨーロッパ近世	休講		4				2	
		アメリカ・ヨーロッパ文化学C演習Ⅱ	表現文化	英米文学	休講		4				2	
				近代アメリカ美術	休講		4				2	
				第二言語習得と学習	休講		4				2	
		日本文化学A演習Ⅱ	思想	日本近・現代史	休講		4				2	
日本プロテスタント史				休講		4				2		
日本文化学B演習Ⅱ		歴史	中世史	休講		4				2		
			近・現代史	休講		4				2		
日本文化学C演習Ⅱ		文学	古代(中古)	休講		4				2		
			近現代	休講		4				2		
			日本漢文	休講		4				2		
文化基礎・人間学A演習Ⅱ	人間学	生涯学習論・社会教育	休講		4					2		
		対象理解	休講		4					2		
		成人教育学	休講		4					2		
		異文化間教育	休講		4				2			
文化基礎・人間学B演習Ⅱ	表現文化	児童文学	休講		4					2		
		音楽文化	休講		4					2		
修了要件		30単位以上、かつ修士論文またはそれに代わる研究成果を提出し審査に合格すること。										

○印：週1回授業 ◎：週2回授業

2024 博士後期課程カリキュラム					
特殊研究科目	アメリカ文化学特殊研究 ヨーロッパ文化学特殊研究 日本文化学特殊研究 アジア文化学特殊研究 キリスト教文化学特殊研究 文化基礎・人間学特殊研究 総合文化学特殊研究	博士指導主査・副査			
一般履修科目	アメリカ文化学特殊演習 ヨーロッパ文化学特殊演習 日本文化学特殊演習 アジア文化学特殊演習 キリスト教文化学特殊演習 文化基礎・人間学特殊演習 総合文化学特殊演習	修士演習Ⅰと同			
			通年1・2・3	（1 在 科 籍 目 期 選 間 中 ） 必修	
			通年1	1 科 目 選 択 必 修	